

# 琴浦町健康経営モデル事業 参加事業所を募集します



こんなお悩みありませんか？

従業員にメタボの人が多く、改善したい

一度に複数の従業員が病欠してしまい  
業務が回らなくなった

など



これらの悩みに「健康経営」でアプローチしてみませんか？ ※裏面を参照

琴浦町では、**健康経営に取り組む事業所に費用の全額を助成**します。  
さらにこの事業では、日本健康会議が認定する「健康経営優良法人」の取得を目指すことができ、貴社のブランドイメージ向上が期待されます。  
※健康経営はNPO法人健康研究会の登録商標です。

## 対象

町内に本社(店)  
支社(店)  
営業所のある事業所

## 対象経費

事業所が定める健康課題  
解決のために行う事業に  
かかる経費の全額  
(補助率 10 / 10)

## 補助額(限度額)

- ①大規模事業所 **25万円**  
(100人以上)
- ②中小規模事業所 **20万円**  
(100人未満)

※事業所の業種・規模・従業員数等  
によって異なります。  
詳しくは、補助金交付要綱をご確認  
ください。

## 事業の進め方

事業所内の  
健康課題の抽出

(事業所厚生担当者・医療保険者  
・産業医・町(保健師)などと連携)

計画  
申請

実施

評価

費用助成

問合せ先：琴浦町すこやか健康課健康推進  
52-1705(担当：谷田)

# 「健康経営」とは？

従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。従業員と一緒に健康の維持や増進に取り組むことで会社の活性化やイメージ、業績を向上させていく取組です。

## 取組事例

■ 血圧の高い従業員が多い

→ 本事業で血圧計を購入し日々意識した食生活を行うことにつながった

■ インフルエンザの予防接種率が低い

→ 自己負担分の助成を行い接種率上昇、予防につながった

■ がん検診の受診率が低い

→ 自己負担分の助成を行うことで受診率上昇、予防につながった

■ メタボや運動不足の社員が多い

→ ウォーキングイベントを開催し運動の機会をもうけた

## 「健康優良法人」の認定を受けるためにはどんなことをすれば良いか？

### 健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）認定要件

大項目	中項目	小項目	評価項目	認定要件
1. 経営理念(経営者の自覚)			健康宣言の社内外への発信及び経営者自身の健診受診	必須
2. 組織体制			健康づくり担当者の設置	必須
			(求めに応じて)40歳以上の従業員の健診データの提供	必須
3. 制度・施策実行	(1) 従業員の健康課題の把握と必要な対策の検討	健康課題に基づいた具体的な目標の設定	健康経営の具体的な推進計画	必須
		健康課題の把握	①定期健診受診率(実質100%) ②受診勧奨の取り組み ③50人未満の事業場におけるストレスチェックの実施	左記①～③のうち2項目以上
	(2) 健康経営の実践に向けた土台づくり	ヘルスリテラシーの向上	④管理職又は従業員に対する教育機会の設定	左記④～⑦のうち1項目以上
		ワークライフバランスの推進	⑤適切な働き方実現に向けた取り組み	
		職場の活性化	⑥コミュニケーションの促進に向けた取り組み	
	(3) 従業員の心と身体の健康づくりに関する具体的な対策	病気の治療と仕事の両立支援	⑦私病等に関する両立支援の取り組み(⑬以外)	左記⑧～⑮のうち4項目以上
		具体的な健康保持・増進施策	⑧保健指導の実施または特定保健指導実施機会の提供に関する取り組み	
			⑨食生活の改善に向けた取り組み	
			⑩運動機会の増進に向けた取り組み	
			⑪女性の健康保持・増進に向けた取り組み	
感染症予防対策		⑫長時間労働者への対応に関する取り組み	⑬メンタルヘルス不調者への対応に関する取り組み	
	⑭感染症予防に関する取り組み			
喫煙対策	⑮喫煙率低下に向けた取り組み	必須		
	受動喫煙対策に関する取り組み			
4. 評価・改善			健康経営の取り組みに対する評価・改善	必須
5. 法令遵守・リスクマネジメント(自主申告) ※誓約書参照			定期健診を実施していること、50人以上の事業場においてストレスチェックを実施していること、労働基準法または労働安全衛生法に係る違反により送検されていないこと、等	必須

フライツ500は左記①～⑮のうち13項目以上

## 琴浦町での「健康経営優良法人」認定状況

2020年3月 鳥取部品(株)が町内で初認定  
2021年 (株)チュウブも認定

※認定には琴浦町と協会けんぽが申請書類や情報発信などの取組アドバイスを行いました。